



## 「帆花（ほのか）」

生後すぐに『脳死に近い状態』と宣告された帆花ちゃんと家族のドキュメンタリー。たまたま帆花ちゃんのお母さんのブログを何度か読んだことがありました。多くの医療的ケアを含め、大変な毎日だろうなと思い読んでいましたが、お母さんが帆花ちゃんをとても大切に、丁寧に愛情たっぷりで育てておられる様子がいいなあと感じていました。

今回ご紹介をいただき、大阪では2月26日から十三駅近くの第七藝術劇場で上映されます。ぜひ観にいきたいと思います。



# 帆花



生後すぐに「脳死に近い状態」と宣告された帆花ちゃん。母親の理佐さん、父親の秀勝さんと過ごす家族の時間にカメラは寄り添う。常に見守りが必要な帆花ちゃんとの生活は誰にでもできることではない。でも、理佐さんと秀勝さんの2人にとってはあたりまえで、普通のこと。いろんな場所に出かけていき、絵本を読み聞かせ、お風呂に入れ、吸引をする……ありふれた日常の中で積み重なり、育まれていくもの。動かなくても、言葉を発しなくとも、ふれあうことで通じあい、満ちていくもの。帆花ちゃんを愛しむ両親の姿から伝わる、我が子と一緒にいられる幸せ。

そんな家族のかけがえのない日々に、生きる喜びと生命の営みを見出したのは、今作が初監督作品となる國友勇吾。3歳だった帆花ちゃんが小学校に入学するまでの間、家族のすぐそばで、言葉にならずとも、カメラに映らずとも、ひとが生きていく上で大切なものを丁寧にみつめ続けた。プロデューサーに『春を告げる町』の監督でもある島田隆一を迎え、編集を『ニッポン国VS泉南石綿村』『東京クルド』などの秦岳志、整音を『台湾萬歳』『オキナワ サントス』などの川上拓也が手掛けるなど、現代ドキュメンタリーの精鋭陣がスタッフとして参加している。

帆花ちゃんの手の柔らかさとぬくもりに、生を実感して心が震えたという國友監督が紡ぎ出す、いま、この社会に私たちとともに在る「いのち」の物語。



〔大阪〕 第七藝術劇場 2/26(土)～ 電話06-6302-2073

〔2/26㊁〕 劇場イベント開催

〔登壇者〕 今西洋介さん（小児科医・新生児科医）、  
國友勇吾監督

〔京都〕 京都みなみ会館 2/25(金)～ 電話075-661-3903

〔2/27㊁〕 劇場イベント開催

〔登壇者〕 戸田ひかるさん（映画監督）、國友勇吾監督



映画  
「帆花（ほのか）」  
公式サイト

<http://honoka-film.com/>

## 映画のご紹介



支える会の事務局には行政機関をはじめ、いろいろな団体、個人の方から情報を提供いただいている。その中に映画上映会のお知らせがあります。しかし新型コロナ感染症の流行以来、皆さんに広く紹介をする機会を逃しています。

感染状況が落ち着いている時期に2本の映画を観ました。息子の通所時間帯である平日の昼間は元々空いている映画館。普段なら友人や家族と映画の前後に食事をしますが、今は一人で、マスクを外すこともなく帰宅です。そのため、かえつていつもより映画をじっくり集中して見ることができたかもしれません。

見る機会を逃してしまった作品も含め紹介を致します。（H）

## 「普通に死ぬ ～いのちの自立～」

平成24年、「普通に生きる ～自立をめざして～」は支える会の主催でも上映をさせていただきましたが、その続編「普通に死ぬ ～いのちの自立～」が令和2年に大阪で上映されるお知らせをいただきました。

どんなに重い障害をもっていても本人も家族も普通に生きていける社会をめざして「普通に生きる」から8年後、年齢を重ねてゆく本人とその家族、親亡き後を考える内容となっています。兵庫県伊丹市、西宮市での活動も紹介されていて、支える会でもお世話になっている方々も登場しています。

コロナ感染が収束し、また上映の機会がありましたら紹介をしたいと思います。

## 「僕とオトウト」

昨年11月に大阪で公開された「僕とオトウト」もご案内をいただきながら、広く皆さんに紹介できませんでした。

重度知的障害の弟に兄がカメラを向け、弟の事をもっと知りたいとドキュメンタリー映画を作成されました。

歳を重ねた両親と弟、我が家も次男が重度障害者で、長男に思いを馳せながら映画をみました。

支える会の機関紙に『きょうだいの会』のお知らせを掲載していますが、私たち親とは違う『きょうだい』の視点、もっと知りたいなと思います。

## 「梅切らぬバカ」

ドキュメンタリーではなく一般的な映画ですが、観てきました。

50歳になる自閉症の息子と母親、死んだことになっている父親が植えた梅の木。息子がグループホームに入所するが、トラブルから家に戻ってくるというストーリー。

障害者が地域で暮らしていくという事を知らない人に見ていただくには、伝わるものがあるかを感じました。

『親子の絆とかけがえのない日々、大変なことも多いけど一緒に過ごす毎日が宝物』という紹介の文章。確かに私も息子との日々をいつまでやっていけるんやろうと思いつながらも楽しんで過ごしていますが、「息子が50歳になったときかあ・・・」当事者の母親としては「う～へん」という結末でしたが、母親を演じる加賀まりこさん、息子を演じる塙地武雅さんがとても素敵でした。



### ライオンズクラブ会長様挨拶

オンラインでの他の会場ともつながっていたのですが、やはり音声が届かなくて、少し残念に思いました。バイオリンの生演奏がとても良かったです。大阪みおつくしライオンズクラブ（大阪ゆとりライオンズクラブ）の皆様が毎年応援して下されお忙しい中、演奏に、プレゼントにと御準備いただき感謝、感謝を申し上げます。毎年、プレゼントを有難うございます。（親・家族）

ありがとうございました。広い会場でゆったり、オンラインも含めて楽しく過ごす事が出来ました。娘は人混みが苦手でいつも落ちつかないのでですが、音楽も楽しめて、こぞって手拍子していました。人がたくさんの中でも食べることは苦手ですが、ゲームの楽しさに乗ってケーキを食べ、初体験のコーヒーに、ニガーアイ顔をしていました。今回が一番本人が楽しめたかもしれません。（親）

今日、はじめてオンライン形式のクリスマスに参加させていただきました有難うございました。今年は、夏ごろから体調が悪く、多くのヘルパーさんに色々とお世話になり、何とも言わぬくらい感謝しています。今はコロナで大変ですが、支える会、ヘルパーさんも良いお年を。もっと明るいニュースをまたお願いします。（当事者）

### 参加者のアンケートを一部 ご紹介させていただきます

感染も落ちていて、感染対策を考えながらのクリスマス会が行われ、参加させていたりで楽しかったです。リモートの声が届かない方が1名おられ残念でしたが、笑顔で返してもらい良かったです。久しぶりにお会いでて皆様の心が一つになり、心温まるクリスマス会でした。今回は、日本の超高層ビル、ハリカスで行われたので大阪の町が一望でき素晴らしかったです。（親）

久しぶりの支える会 クリスマス会へ参加できて嬉しかったです。本日はリモートの人もおられ、少し寂しかったです。令和4年度は、皆でにぎやかに楽しんでいます。（当事者）

（オンラインについて）会場に来られない方が参加できるので良い方法だと思います。（会場の雰囲気が分かりづらい所があるかと思われる。）本人は施設から外出できたことが嬉しかったようです。会場に来ても緊張もせず楽しんでいました。ライオンズクラブの皆様が盛り上げて頂きましたので、とても楽しいひと時を親子共に満足して帰りました。有難うございました。（親）



今までの形のクリスマス会に比べると盛り上がりにかけていますが、親子共々楽しめました。出来れば、もう少し皆さんと触れ合いが欲しいです。ライオンズクラブの方、スタッフの方、感謝します。（親）



クリスマス会、開催ありがとうございました。少し寂しげではありました。久々の外出であたふたしながらもほっこりした時間を過ごせました。人数が増えてゲームなど楽しめたら嬉しい思います。またの機会、よろしくお願ひします。（親）

## 支える会 クリスマス会 日本一高いビルにてオンラインとハイブリッド開催

昨年12月11日（土）、デルタ株収束の兆しを見計らい、あべのハルカス25階会議室にてクリスマス会を開催しました。

今回も大阪みおつくしライオンズクラブ（大阪ゆとりライオンズクラブ）様、ならび皆様のご協力をいただき無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

広い会場に12組のご家族様参加とゆったりスペースを使い三密に気を付けました。（オンライン参加のご本人様は9名。合計21名。）

当会会長挨拶に始まり、大阪みおつくしライオンズクラブ会長様よりご挨拶。最初の演目はバイオリン演奏。毎年演奏をしていただいているライオンズクラブ会員のお嬢さんが、ご友人とお母さまとのトリオをご披露。バイオリンの美しい音色に引き込まれ一気にクリスマスの雰囲気となりました。続いてボーカルとギター、ライオンズクラブのお二人。ビデオを再生したものなのに会場と掛け合う内容になっており、「聴かせる」「笑わせる」と、もしやコチラで営業に回っていらっしゃるのかなという巧みな時間でした。次にハルカスのケーキとお茶でティータイム。皆さん、美味しかったそうです。次は、ライオンズクラブさんがご用意くださったお楽しみプレゼント抽選会。インターネットの向こうから会場への気持ちが爆発したのか、なんとオンラインご参加の人が大半当選するという結果になりました。そして、終わりのご挨拶、最後にみんなで「きよしこの夜」を合唱して観客と共に幕引きとなりました。

会場の音をインターネットからオンラインご参加の方々に十分な音量で届けられなかったり、オンラインでご参加くださった方の音声が会場へ届かなかったりとアクシデントもあり、慣れないことへの難しさを感じましたが、次はより充実した内容へと繋いで行きたいと思います。皆様有難うございました。（スタッフ清水）

（リモートをする為にプロジェクターからスクリーンへ常に映像を投影していましたが、）会場がハリカスの25階でしたので、部屋から景観をもっと、楽しむことができました。（親）



クリスマス会を開催して頂きありがとうございました。コロナ感染拡大後、もう2年余りも殆どどこにも息子を連れていけなかったので、クリスマス会に参加できることを楽しみにしていました。バイオリン、ギター演奏、抽選会など、どうも有難うございました。コロナ禍で準備して頂いた皆さんにはご苦労なことが多かったことと思います。ハイブリットで参加された方もリモートはまだまだ慣れない方法のため、スムーズに進行できないこともありましたが、アットホームな雰囲気で良かったと思います。また来年、元気に皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。（親）

会場がハリカスの25階だと聞いた時は、びっくりして心がはずみました。晴れがましい気持ちでエレベーターに乗り込みました。とっても広い場所でまわりの景色も楽しみながら、美味しいコーヒー、ジュースをいただけて、そして久しぶりの外出でしたので、子供も私達親も久しぶりの『せいにく』を味わせていただきました。御準備、御手配大変だった事と思いました。皆様のおかげで楽しい「クリスマス会」に出席出来て親子共々喜んでおります。コロナで引き籠もりの毎日でしたので、この様に外出できて何よりの「プレゼント」をいただきました。有難うございました。（親・家族）

何回か参加していますが、にぎやかなところが苦手な利用者なので、いつもは半分位しか楽しめませんでしたが、広い会場でゆったりとして、一番後ろの席に座れたので音楽にも乗れ、ケーキもゲームの楽しさの中で進み、とても良かったと思います。（施設職員）



# 書籍の案内

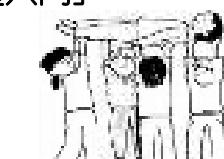
情報

## 「重症心身障がい児・者の方々への介護入門」

— 鏡の向こう側にいるあなたと —

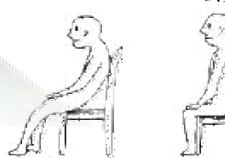


「いつでも、どこでも、誰でも!  
わかりやすい介護の入門」



2016年9月発行  
定価 500円（税込）

社会福祉法人  
大阪重症心身障害児者を支える会発行



〔内容〕

### I はじめに

- ・この冊子を出したいと思ったいきさつ
- ・この冊子のねらい
- ・この冊子が大切にしたいこと



購入申し込み先・問い合わせ先：

「社会福祉法人大阪重症心身障害児者を支える会」事務局  
〒558-0056 大阪市住吉区万代東1丁目3番19号  
ゆらっとステーション内

TEL 06-6690-5360 / FAX 06-6696-9955  
E-mail: [center@saseru.or.jp](mailto:center@saseru.or.jp)

※ 振込先：

<郵便振替> 00920-8-174979  
社福 大阪重症心身障害児者を支える会

※ 1 冊： 500円（税込送料別途）

※ 送 料： 1 冊の場合 210円  
2 冊～10 冊の場合 370円



◎ご購入は下記ご記入の上、FAXまたはメールにてお申  
し込み下さい。

「重症心身障がい児・者の方々への介護入門」申込書、  
氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、TEL（FAX）、  
所属など、冊数

### III コラム〈支援の現場から見える風景〉



## 「支える会」入会のご案内



大阪府重症心身障害児・者を支える会  
(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)  
への入会についてご案内いたします。

### 【個人会員】

◎年会費 10,200円

本部会員及び大阪支部会員

◎年会費 3,600円

大阪支部会員

### 【法人・団体会員】

◎年会費 10,000円（1口）

本部会員及び大阪支部会員

◎年会費 3,000円（1口）

大阪支部会員（運営資金の協力会員）

☆申込み・問い合わせは事務局までお願いします

情報

## 第10回大阪ショートステイ連絡協議会 公開講演会

・開催日時： 2022年3月5日（土）

PM13:30～16:50 参加費無料

・開催方法： Zoomによるオンライン開催

・テーマ： 「重症心身障害児者と共に今を歩む」

16:30 報告

「ショートステイ連絡協議会報告」

ショートステイ連絡協議会事務局

16:45 閉会の挨拶 大阪発達総合療育センター  
センター長 船戸 正久

●対象： 医療・福祉・教育関係者

●参加費： 無料



●開催方法： Zoomによるオンライン開催  
(事前登録制・先着順・2月28日締切)

事前登録 →

URL: <https://forms.gle/mSdvmSwYLps45wVo7>

●お問い合わせ先

1. 第10回大阪ショートステイ連絡協議会公開  
講演会・担当施設（当日配信本部）

枚方総合発達医療センター 〒573-0122

大阪府枚方市津田東町2丁目1番1号

TEL 072-858-0373 / FAX 072-858-9521

問い合わせメールアドレス

[hrktst10@hirakataryoiku-med.or.jp](mailto:hrktst10@hirakataryoiku-med.or.jp)

地域連携室 池辺

2. 大阪ショートステイ連絡協議会事務局

大阪発達総合療育センター 〒546-0035

大阪府大阪市東住吉区坂山5丁目11番21号

TEL 06-6699-8731 / FAX 06-6699-8134

地域医療・福祉相談室 近藤・藤永

メールアドレス [kondoh@osaka-drc.jp](mailto:kondoh@osaka-drc.jp)

主催： 大阪ショートステイ連絡協議会

世話人代表 船戸 正久

第10回公開講演会 会長 山西 千晶

後援： 大阪府・大阪市・大阪府医師会・

大阪府看護協会・大阪小児科医会・

大阪府重症心身障害児・者を支える会